教科	国語	学年	第3学年

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準			評価資料
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
一　自己・他者・物語 私が「私」であるということ	12	●言葉の中の春を読む。 ●文章の種類を踏まえ，その展開の仕方に着目して，筆者の個性的な考えを捉える。 ●文章の種類と特徴について理解を深める。 ●知識や経験と結びつけて文章を読み，内容を評価する。 ●言葉の意味を把握し，具体的なできごとを考える。 ●読書が自分と社会との関わりを支えている，ということを理解する。 ●文章を吟味して読み，文章に表れている筆者の見方や考え方について批評する。 ●作品を読み，人間，社会などについて思い巡らせ，自分の意見をもつ。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。 文章の種類とその特徴について理解を深めている。 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，話の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について評価している。 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。 「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，社会生活の中から話題を決め，多様な考えを想定しながら材料を整理し，伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において，自分の立場や考えを明確にし，相手を説得できるように論理の展開などを考えて，話の構成を工	すすんで表現の仕方について評価し，学習課題にそって批評しようとしている。 すすんで表現の仕方について評価し，学習課題にそって批評しようとしている。 積極的に場の状況に応じて言葉を選び，学習課題にそって提案しようとしている。 粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し，今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。	
二　人権・多様性・平和. 写真からは「美しく撮る」という明確な意志が感じられた	10	●目的に応じて本や文章などを読み，知識を広げたり，自分の考えを深めたりする。 ●社会生活の中から自分で課題を見つけ，主張をまとめる。 ●自分の立場や意見を明確にし，論理の展開や話の構成を工夫する。 ●新聞を構成する情報について整理し，それぞれの効果について考える。 ●社説を比較して読み，内容の特徴を理解する。 ●漢字の音の歴史についての理解を深める。 ●助詞のはたらきについて理解する。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 1第2学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字の大体を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字について，文や文章の中で使い慣れている。 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使い，語感を磨き語彙を豊かにしている。 助詞のはたらきについて理解してい	「読むこと」において，文章を批判的に読みながら，文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。 「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，社会生活の中から話題を決め，多様な考えを想定しながら材料を整理し，伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において，自分の立場や考えを明確にし，相手を説得できるように論理の展開などを考えて，話の構成を工夫している。CIリウ 「話すこと・聞くこと」において，自分の立場や考えを明確にし，相手を説得できるように論理の展開などを考えて，話の構成を工夫している。	積極的に文章の種類とその特徴について理解し，今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。 すすんで情報の信頼性の確かめ方を理解して使い，学習の見通しをもって主張しようとしている。 粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き，今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。 粘り強く単語のはたらきや文の成分を理解し，学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。	
三　人事・多様性・平和	12	●「哲学」など，筆者のあげている言葉の内容を捉える。 ●事例や主張が適切かを考えながら読む。 ●文章の内容について検討したり，吟味したりしながら筆者のものの見方や考え方を捉え，自分の考えを述べる。 ●具体的な事例をもとに一般的な特徴を導く。 ●読み手に説明するために構成を工夫する。 ●熟字訓についての理解を深める。 ●和語・漢語・外来語について理解し，効果的に使い分ける。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，語感を磨き語彙を豊かにしている。 文章の種類とその特徴について理解を深めている。 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 第2学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字の大体を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字について，文や文章の中で使い慣れている。 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解してい	「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について評価している。 「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。 「書くこと」において，目的や意図に応じて，社会生活の中から題材を決め，集めた材料の客観性や信頼性を確認し，伝えたいことを明確にしている。	粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し，学習課題にそって批評する文章を書こうとしている。 粘り強く単語のはたらきや文の成分を理解し，学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。	
四　自然・環境・科学	17	●事例と主張とを関係づけて読む。 ●文章を比べ，評価しながら読む。 ●文章を読み，社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 ●事例と主張とを関係づけて読む。 ●文章を比べ，評価しながら読む。 ●文章を読み，社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 ●資料を比較して，自分の考えを整理する。 ●伝えたいことを明らかにし，説得力のある文章を書く。 ●助動詞のはたらきについて理解する。 ●場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきについて理解する。 ●ニュースを構成する情報について整理し，それぞれの効果について考える。 ●ニュースを構成する情報を，目的にそって効果的に使う。 ●実用文の特徴を理解し，社会生活の中で生かす。 ●必要な情報に着目して，調べたり考えたりしながら読む	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 助動詞などのはたらきについて理解している。 敬語などの相手や場に応じた言葉づかいを理解し，適切に使っている。 事象や行為を表す語句の凌を増やすとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。	「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について評価している。 「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，論理の展開の仕方などを捉えている。 「話すこと・聞くこと」において，進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い，合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 「書くこと」において，表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど，自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 「読むこと」において，文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握し	積極的に文章の種類とその特徴について理解し，今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。 粘り強く論理の展開の仕方を捉え，学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。 積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し，学習の見通しをもって批評する文章を書こうとしている。 粘り強く単語のはたらきや文の成分を理解し，学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。 粘り強く相手や場に応じた言葉づかいを理解し，学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。 積極的に論理の展開を捉え，今までの学習を生かして実生活への生かし方を考えようとしている。 積極的に文章の構成について考え，学習課題に沿って文章を読んで考えたことを書こうとしている。	・授業観察 ・ノート ・創作作品 ・定期考査 ・ワークブック ・発表 ・ワークシート ・自己評価表
五　伝説・文化・歴史	14	●情景や心情について話し合ったり，古典の一節を引用した文章を書いたりする。 ●歴史的背景に注意しながら読み，文章の特徴を理解する。 ●古人のものの見方や考え方について話し合い，自分の考えを深める。 ●和歌の技法や歴史的背景を理解しながら，歌のリズムを味わう。 ●歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え，心情を理解して考えを深める。 ●詩の形式や表現の工夫などを理解して朗唱し，作品の響きを味わう。 ●わが国を代表する作家とその作品についてふれ，近代の小説や物語を読む。 ●漢字同訓についての理解を深める。 ●慣用句ことわざのはたらきや使い方を理解する。	歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして，その世界に親しんでいる。 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことをとおして，語感を磨き語彙を豊かにしている。 文章の種類とその特徴について理解を深めている。 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 1第2学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字の大体を読んでいる。また，学年別漢字配当表に示されている漢字について，文や文章の中で使い慣れている。 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使い，語感を磨き語彙を豊かにしている。 慣用句などについて理解を深め，話や文章の中で使い，語感を磨き語彙を豊かにしている。 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。	「読むこと」において，文章の構成や論理の展開，表現の仕方について評価している。 「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，論理や物語の展開の仕方などを捉えている。	粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し，今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。 粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き，今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。 粘り強く慣用句などについて理解し，学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。	
六　身体・生命・家族	15	●持続可能な社会の実現に向けて，自己変容を通じて未来を考える。 ●相手の考えを評価しながら，自分の考えを広げ深める。 ●話し合いの進行の仕方を工夫して，合意形成を行う。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	話すこと・聞くこと」において，進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い，合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 「書くこと」において，表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど，自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 「読むこと」において，文章を読んで考えを広げたり深めたりして，人間，社会，自然などについて，自分の意見をもっている。	粘り強く論理の展開の仕方を捉え，学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。	
七　近代化・国際社会・共生	9	●持続可能な社会の実現に向けて，自己変容を通じて未来を考える。	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	・「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討している。 「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	粘り強く論理の展開の仕方を捉え，学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。	
八　伝統・文化・歴史	4	古典にはさまざまな作品があることを知り，古典の仮名遣いにふれる 古典の仮名遣いに注意して音読し，物語の内容を捉える。 いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。	音読に必要な文語のきまりを知り，古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。 古典には様々な種類の作品があることを知っている。	・「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	すすんで音読に必要な文語のきまりを知り，学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。	
書写	22	・姿勢・執筆，用具の扱い，楷書の点画の特徴などを正しく把握している。 ・漢字や仮名の字形や大きさを理解しようとしている。 ・書き初めを書くにあたり、自分の課題を見つけ、練習を重ねている。 ・字形を整えることを意識して書いている。	・楷書の特徴を理解し、止めやはらいに注意して書いている。 ・漢字と仮名の調和を理解して書いている。 ・課題文字の特徴を理解し、筆づかいに注意して書いている。 ・さまざまな筆記用具を使って、用途に合わせた文字を書いている。 ・姿勢・執筆，用具の扱い，楷書の点画の特徴などを正しく把握している。	・字形を整えることを意識して書いている。	・すすんで漢字や仮名の字形や大きさを理解しようとしている。 ・書き初めを書くにあたり、自分の課題を見つけ、粘り強く練習を重ねている。	